



竹林の風

「食育」の充実

「食育」は、生涯にわたって心も身体も健康で豊かな人間性を育むものです。栃木県では、栃木県食育推進計画「とちぎの食育 元気プラン（第2期）」（平成23年度から平成27年度）を策定し、積極的に推進しています。学校では、教育活動全体において、食育を各教科・特別活動等の指導と関連させ実施するとともに、生産者等との交流を通して地域農産物の活用の機会の確保と充実を図ることを目指します。そのため、各学校において、「食に関する指導体制の充実」、「指導内容及び学校給食の充実」、「家庭・地域との連携促進」を図っていくことが求められています。



（食に関する授業 「とちぎの食育 元気プラン」から引用）

【基本目標】

食を大切に作る心を育てます。
楽しく規則正しい食事の習慣を築きます。
栃木の多彩な食を活かした「日本型食生活」を推進します。
食の安全・安心に対する理解を深めます。
県民が主役の食育推進運動を展開します。

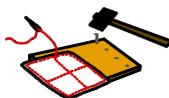
みらい創造科

上三川町本郷地区の小・中学校（本郷中、本郷小、本郷北小）では、「持続可能な社会の構築を目指し、考え、行動する児童・生徒の育成」をテーマとして研究開発に取り組んでいます。この研究開発では、児童・生徒の発達の段階及び学習の系統性を考慮した小・中一貫による新教科「みらい創造科」を創設し、ものづくりなどとおして、「様々な視点から事象をみていく複眼的な観察力及び思考力」、「緻密さを重視した技術的能力」、「課題を発見し、解決に向けて行動する能力」の育成を目指しています。

小学校では、「鑄造でキーホルダーを作ろう」（6年生）などの巧緻性を育む授業が展開され、また中学校では、「電気自動車を走らせよう」（1年生）などの創造性を育む授業が展開されています。11月25日には研究開発の中間発表会があり、ものづくりの教育的な効果が改めて示されました。



キーホルダーの鑄造



電気自動車の改善

ふれあい出前講座

こんなとき、ぜひ「ふれあい学習課」まで御連絡ください！！

職員の研修で人権に関する内容をやりたいなあ

子どもたちの自尊感情を高めたいなあ。どうすれば・・・

子育てについて保護者が学べる機会をつくりたいなあ

学校支援ボランティアについて教職員が理解を深める機会を作りたいなあ



仲間づくりやコミュニケーションについて学びたいけど・・・

参加型の学習スタイルを使い、参加者がお互いにコミュニケーションをとりながら学んでいきます。

今年度・・・

- ・保護者会では、親子のコミュニケーションや大人の役割などについて考えました。
- ・就学時健診では、保護者が子どもと一緒に小学校生活を楽しむための関わり方を考えました。
- ・現職教育では、人権に関するワークショップをとおして、コミュニケーションのあり方や子どもたちの自尊感情を高める方法などについて、気づきをうながす機会となりました。また、学校支援ボランティアに関しての理解を深めました。

内容や方法については、御要望に応じて変更可能です。まずは、お気軽に御連絡ください。

ふれあい学習課 028(626)3183

ふれあいキャンプに参加して



9月28日～30日の2泊3日でふれあいキャンプ（不登校児童生徒合同宿泊体験学習）が太平少年自然の家で行われました。このキャンプの目的は「自然体験活動や共同宿泊体験等をとおして、集団適応力や社会性、協調性等をはぐくみ、不登校の解消や社会参加に向けてのきっかけをつくる」というものです。キャンプを終えて、近況報告の中で、キャンプ参加後に「学校で生活する時間が増えた」「周囲の人と関わるようになった」などの報告を受けるとうれしく思います。



おやつ作り
時間をかけてじっくり焼き上げたバームクーヘンはとてもおいしくできました。

キャンプファイヤー
キャンプファイヤーの火を囲んで、ゲームを楽しんだ時間はあっという間に過ぎてしまいました。



ある生徒の会話

- S1:「去年の担任の先生は、毎日電話してくるので、着信拒否にしてたんだ。」
S2:「それって、ひどくない？」
S1:「今年の担任の先生は、毎日電話してこないんだ。」

電話が毎日こないと言った生徒の表情が寂しそうであったのが印象的でした。